



その他の**SMB**サーバタスクの管理

ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

その他のSMBサーバタスクの管理	1
CIFSサーバの停止または起動	1
別のOUへのCIFSサーバの移動	2
SMBサーバ移動前にSVM上の動的DNSドメインを変更する	2
SVMのActive Directoryドメインへの参加	2
NetBIOS over TCP接続に関する情報を表示する	4
SMBサーバの管理用コマンド	5
NetBIOSネームサービスを有効にする	6

その他のSMBサーバタスクの管理

CIFSサーバの停止または起動

ユーザがSMB共有を介してデータにアクセスしていない間にタスクを実行する場合は、SVM上のCIFSサーバを停止すると便利です。SMBアクセスを再開するには、CIFSサーバを起動します。CIFSサーバを停止することによって、Storage Virtual Machine (SVM) で許可されているプロトコルを変更することもできます。

手順

1. 次のいずれかを実行します。

状況	入力するコマンド
CIFSサーバを停止する	<code>`vserver cifs stop -vserver vserver_name [-foreground {true</code>
<code>false}]`</code>	CIFSサーバを起動する
<code>`vserver cifs start -vserver vserver_name [-foreground {true</code>	<code>false}]`</code>

`-foreground`` コマンドをフォアグラウンドとバックグラウンドのどちらで実行するかを指定します。このパラメータを入力しない場合、このパラメータはに設定され ``true``、フォアグラウンドでコマンドが実行されます。

2. コマンドを使用して、CIFSサーバの管理ステータスが正しいことを確認します `vserver cifs show``。

例

次のコマンドは、SVM vs1でCIFSサーバを起動します。

```
cluster1::> vserver cifs start -vserver vs1

cluster1::> vserver cifs show -vserver vs1

                                Vserver: vs1
                                CIFS Server NetBIOS Name: VS1
                                NetBIOS Domain/Workgroup Name: DOMAIN
                                Fully Qualified Domain Name: DOMAIN.LOCAL
                                Default Site Used by LIFs Without Site Membership:
                                Authentication Style: domain
                                CIFS Server Administrative Status: up
```

関連情報

[検出されたサーバに関する情報の表示](#)

別のOUへのCIFSサーバの移動

CIFSサーバの作成プロセスでは、別のOUを指定しないかぎり、セットアップ時にデフォルトの組織単位（OU）CN=Computersが使用されます。CIFSサーバはセットアップ後に別のOUに移動できます。

手順

1. Windows サーバーで、* Active Directory ユーザーとコンピューター * ツリーを開きます。
2. Storage Virtual Machine (SVM) のActive Directoryオブジェクトを探します。
3. オブジェクトを右クリックし、* 移動 * (* Move *) を選択します。
4. SVMに関連付けるOUを選択します。

結果

選択したOUにSVMオブジェクトが配置されます。

SMBサーバ移動前にSVM上の動的DNSドメインを変更する

SMBサーバを別のドメインに移動するときに、Active Directory統合DNSサーバでSMBサーバのDNSレコードがDNSに動的に登録されるようにするには、SMBサーバを移動する前にStorage Virtual Machine (SVM) の動的DNS (DDNS) を変更する必要があります。

開始する前に

SMB サーバコンピュータアカウントを含む新しいドメインのサービスロケーションレコードを含む DNS ドメインを使用するには、SVM で DNS ネームサービスを変更する必要があります。セキュアDDNSを使用している場合は、Active Directoryに統合されたDNSネームサーバを使用する必要があります。

タスクの内容

DDNS (SVM 上で設定されている場合) はデータ LIF の DNS レコードを新しいドメインに自動的に追加しますが、元のドメインの DNS レコードは元の DNS サーバから自動的に削除されません。手動で削除する必要があります。

SMBサーバを移動する前にDDNSの変更を完了するには、次のトピックを参照してください。

["動的DNSサービスの設定"](#)

SVMのActive Directoryドメインへの参加

コマンドを使用してドメインを変更すると、既存のSMBサーバを削除せずにStorage Virtual Machine (SVM) をActive Directoryドメインに追加できます `vserver cifs modify`。現在のドメインに参加しなすことも、新しいドメインに参加することもできます。

開始する前に

- SVM の DNS 設定が完了している必要があります。
- SVM の DNS 設定がターゲットドメインを提供できる必要があります。

DNSサーバには、ドメインLDAPサーバとドメインコントローラサーバのサービスロケーションレコード (SRV) が含まれている必要があります。

タスクの内容

- Active Directory ドメインの変更を続行するには、CIFS サーバの管理ステータスを「所有」に設定する必要があります。
- コマンドが正常に完了すると、管理ステータスは自動的に「up」に設定されます。
- ドメインに参加する場合、このコマンドの実行には数分かかることがあります。

手順

1. SVMをCIFSサーバドメインに追加します。 `vserver cifs modify -vserver vserver_name -domain domain_name -status-admin down`

詳細については、コマンドのマニュアルページを参照して `vserver cifs modify` ください。新しいドメイン用にDNSを再設定する必要がある場合は、コマンドのマニュアルページを参照して `vserver dns modify` ください。

SMBサーバ用のActive Directoryマシンアカウントを作成するには、.comドメイン内のコンテナ `example`` にコンピュータを追加するための十分なPrivilegesを備えたWindowsアカウントの名前とパスワードを指定する必要があります ``ou= example ou``。

ONTAP 9.7以降では、権限のあるWindowsアカウントの名前とパスワードを指定する代わりに、keytabファイルのURIをAD管理者から提供することができます。URIを受け取ったら、コマンドのパラメータ `vserver cifs` にそのURIを含め `keytab-uri` ます。

2. CIFSサーバが目的のActive Directoryドメイン内にあることを確認します。 `vserver cifs show`

例

次の例では、SVM vs1 上にある SMB サーバ「CIFSSERVER1」を keytab 認証を使用して example.com ドメインに追加します。

```
cluster1::> vserver cifs modify -vserver vs1 -domain example.com -status
-admin down -keytab-uri http://admin.example.com/ontap1.keytab
```

```
cluster1::> vserver cifs show
```

	Server	Status	Domain/Workgroup	Authentication
Vserver	Name	Admin	Name	Style
-----	-----	-----	-----	-----
vs1	CIFSSERVER1	up	EXAMPLE	domain

NetBIOS over TCP接続に関する情報を表示する

NetBIOS over TCP (NBT) 接続に関する情報を表示できます。これは、NetBIOS関連の問題のトラブルシューティングに役立ちます。

ステップ

1. NetBIOS over TCP接続に関する情報を表示するには、コマンドを使用し `vserver cifs nbtstat` ます。



IPv6経由のNetBIOSネームサービス (NBNS) はサポートされていません。

例

次の例は、「cluster1」について表示される NetBIOS ネームサービスの情報を示しています。

```
cluster1::> vserver cifs nbtstat

Vserver: vs1
Node:    cluster1-01
Interfaces:
          10.10.10.32
          10.10.10.33
Servers:
          17.17.1.2 (active )
NBT Scope:
          [ ]
NBT Mode:
          [h]
NBT Name      NetBIOS Suffix  State   Time Left  Type
-----
CLUSTER_1    00                   wins    57
CLUSTER_1    20                   wins    57

Vserver: vs1
Node:    cluster1-02
Interfaces:
          10.10.10.35
Servers:
          17.17.1.2 (active )
CLUSTER_1    00                   wins    58
CLUSTER_1    20                   wins    58
4 entries were displayed.
```

SMBサーバの管理用コマンド

作成、表示、変更、停止、開始、およびSMBサーバを削除しています。また、サーバのリセットと再検出、マシンアカウントパスワードの変更またはリセット、マシンアカウントパスワードのスケジュール変更、NetBIOSエイリアスの追加または削除を行うコマンドもあります。

状況	使用するコマンド
SMBサーバを作成	<code>vserver cifs create</code>
SMBサーバに関する情報を表示する	<code>vserver cifs show</code>
SMBサーバを変更する	<code>vserver cifs modify</code>
SMBサーバを別のドメインに移動する	<code>vserver cifs modify</code>
SMBサーバを停止する	<code>vserver cifs stop</code>
SMBサーバを起動する	<code>vserver cifs start</code>
SMBサーバを削除する	<code>vserver cifs delete</code>
SMBサーバ用のサーバのリセットと再検出	<code>vserver cifs domain discovered-servers reset-servers</code>
SMBサーバのマシンアカウントパスワードを変更する	<code>vserver cifs domain password change</code>
SMBサーバのマシンアカウントパスワードをリセットする	<code>vserver cifs domain password change</code>
SMBサーバのマシンアカウントの自動パスワード変更のスケジュールを設定する	<code>vserver cifs domain password schedule modify</code>
SMBサーバ用のNetBIOSエイリアスを追加する	<code>vserver cifs add-netbios-aliases</code>
SMBサーバのNetBIOSエイリアスを削除する	<code>vserver cifs remove-netbios-aliases</code>

詳細については、各コマンドのマニュアルページを参照してください。

関連情報

["SMBサーバを削除したときのローカルユーザとローカルグループへの影響"](#)

NetBIOSネームサービスを有効にする

ONTAP 9以降では、NetBIOSネームサービス（NBNS、WindowsインターネットネームサービスまたはWINSと呼ばれることもあります）はデフォルトで無効になっています。以前は、WINSがネットワークで有効になっているかどうかに関係なく、CIFS対応Storage Virtual Machine（SVM）が名前登録のブロードキャストを送信していました。このようなブロードキャストをNBNSが必要な構成に限定するには、新しいCIFSサーバに対してNBNSを明示的に有効にする必要があります。

開始する前に

- すでにNBNSを使用していて、ONTAP 9にアップグレードする場合は、このタスクを実行する必要はありません。NBNSは以前と同様に機能します。
- NBNSはUDP（ポート137）でイネーブルになっています。
- IPv6経由のNBNSはサポートされていません。

手順

1. 権限レベルをadvancedに設定します。

```
set -privilege advanced
```

2. CIFSサーバでNBNSを有効にします。

```
vserver cifs options modify -vserver <vserver name> -is-nbns-enabled true
```

3. admin権限レベルに戻ります。

```
set -privilege admin
```

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。